

【PQEルーブリック】

区分	観点・到達目標	優秀	可	不可
総合点	論文公表の可能性	期限までに影響力の高い論文が発表可能	期限までに到達可能	期限までにできる可能性が低い
研究内容	学術的価値(研究の位置付け)	優れている	妥当性がある	妥当性がない
	研究課題(学術的な問い、研究目的)	非常に重要な課題(問い)を選び、明瞭に示している	重要な課題(問い)を選び、明瞭に示している	研究上の問いが示されていない、あるいは不明瞭である
	研究目標(研究項目)	目的の達成に必要な十分な質と量の研究目標を設定している	研究目的の達成に必要な研究目標を設定している	妥当な内容あるいは数の目標を設定できていない
	計画の妥当性	各目標を達成するために必要な十分な質と量の実験計画を提案できる。新規で意義のある実験計画を提案できる。必要な比較対照実験も明示できる	各目標を達成するために必要な実験計画を提案できる。新規で意義のある実験計画を提案できる	各目標の達成に必要な実験計画を提案できていない。研究課題と関係ない計画を立てている
	計画の実現可能性・根拠		文献や実験結果等によって計画の実現可能性を示している	文献や実験結果等が不足し、計画の実現可能性に乏しい
	計画の適時性	研究計画を期間内に完了できる。さらに様々な可能性への対応が示されている	期間内に完了できる計画になっている	期間内に完了できる計画になっていない
	研究が計画通りに進まなかった際の代替案の提示	リスクを綿密に検討し、代替案を具体的に示している	代替案を具体的に示している	代替案を示せていない
	研究(実験)方法の説明	簡潔明瞭で適切である。	十分に説明できている	説明が不十分
	研究の特色と独創的な点	世界でも例を見ない、ユニークかつ独創的な研究である	特色的かつ独創的である	特色と独創的な点が不明確である
	期待される結果の説明	簡潔明瞭で適切である。	十分に説明できている	説明が不十分
期待される研究成果の意義づけ	最新の文献情報を踏まえ、学術を先導するものとして研究成果の意義を議論できている	最新の文献情報を踏まえ、自分の研究成果の意義を議論できている	現在から将来を見通して研究の位置づけができていない	
基礎研究力	データ分析	高度なデータ分析ができる	適切な統計分析ができる	適切な統計分析ができない
	専門知識の習得	最新の結果に至る専門知識が習得できている	研究の実施に必要な専門知識の習得ができている	研究の実施に必要な専門知識が習得できていない
	発表の能力	英語での論文執筆および国際学会で口頭発表するための能力を備えている。論文発表と国際学会発表の計画を具体的に明示している	英語で論文執筆するための準備が具体的に進んでおり、論文発表と学会発表の計画を明示している。さらに国際学会での発表の準備を進めている。	英語での論文執筆のための学習ができておらず、国際学会での英語による発表のための学習もできていない。論文発表と学会発表が計画できていない。
	議論の能力	批判的あるいは建設的な意見を出し、議論をリードできる	日常的にセミナーや講演会で発言し、議論に参加できる	セミナーや講演会で自ら質問あるいは発言できない
	批判的思考(critical thinking)	知性と教養を基盤とした批判的思考をもとに発言できる	多様な角度から検討し、論理的かつ客観的に思考できる	文献や教員の意見を鵜呑みにしている
	研究に関する自身の強み/今後必要と考えている要素	具体的な実績を根拠に自身の強みを語り、自分に必要な要素の習得計画を説明できる	自身の強みを捉えて伝え、今後必要な要素を考え、身につけるための計画を立案できる	自身の強みと今後必要な要素を理解していない
専門家としての態度	自身が目指す将来像	将来像を具体的に表現できる	将来像を伝えることができる	将来像を描けていない
	科学に対する誠実さ		科学倫理を理解し、正確で信頼性のあるデータを取得・整理・保存・発表できている	データを操作している・除いている。盗用・剽窃している。引用が適切でない
	研究環境の整理・管理・運営	研究環境が常に綺麗である。機器を管理し、常に整備された状態に保っている	研究環境が整っている。使用後に機器の清掃整備できる	研究環境が混乱している。使用後に機器の清掃整備できない
	意思疎通と謙虚さ	いつ質問すべきか理解できている。自身の失敗を謙虚に受け入れ、報告し、学んでいる	同僚に配慮し、必要な意思疎通ができる。自己反省できる	研究室内の同僚に伝えるべきことを伝えられない。
	フィードバックへの対応	フィードバックへの対応で優れた改善を実施できる	フィードバックに対して合理的な改善を実施できる	フィードバックへの対応が不十分である。
	指導力	研究室メンバーの動向を自ら把握し、PIと相談しながら効果的な助言や指示ができる	研究室メンバーの話を聞いて、助言できる	研究室メンバーとの会話や助言ができていない